

ご使用前に必ずお読みください。

シリコンブレードホースS取扱説明書

お買い上げありがとうございます。この製品は、食品の移送及び理化学機器の接続等の配管に使用するホースです。この取扱説明書は1. 製品説明、2. 使用上の注意事項、3. 金具取付け上の注意事項、4. 維持管理上の注意事項、の順に説明していますので、よく読んでご使用ください。また、いつでもご使用いただける様に大切に保管してください。

誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

| | |
|---|---|
|  警告 | 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度。 |
|  注意 | 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるかまたは物的損害の発生が想定される危害・損害の程度。 |

1. 製品説明

シリコンブレードホースSの最高使用圧力、使用温度範囲、最小曲げ半径及び標準長さは下表の通りです。

| 呼称 | 5 | 6 | 8 | 9 | 12 | 15 | 19 | 25 | 32 | 38 | 50 |
|-------------|----------------|----|----|-----|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| 最高使用圧力 | 1.0MPa | | | | 0.5MPa | | | | | | 0.3MPa |
| 使用温度範囲 | - 30 ~ + 150°C | | | | | | | | | | |
| 最小曲げ半径 (mm) | 70 | 80 | 90 | 100 | 130 | 150 | 180 | 300 | 360 | 430 | 550 |
| 標準長さ (m) | 10 | | | | | | | | | | 6 |

本製品は一般工業用途向けに開発、製造されたものです。医療・医薬及び食品用途に使用される場合には、貴社にてその安全を事前にご確認の上ご使用ください。

弊社は、この用途に関連する適応性及び安全性についての保証は致しません。又、一切の責任を負いません。

以下の注意を守らないと、ホースの破裂や金具抜け等により、傷害事故の原因になることがあります。

2. 使用上の注意事項

| | |
|---|--|
|  警告 | <ul style="list-style-type: none">ホースは最高使用圧力を超えて使用しないでください。ホースは使用温度範囲を超えて使用しないでください。 |
|  注意 | <ul style="list-style-type: none">ホースの無理な曲げ、ねじれ、引っ張りはホースの破損につながります。無理な配管は行わず、ゆとりをもって配管してください。最小曲げ半径未満で使用しますとホースの折れや耐圧力の低下に繋がりますので最小曲げ半径以上でご使用ください。無極性有機溶剤(ベンゼン、トルエン、ヘキサン、ガソリンなど)、ハロゲン化炭化水素(塩化メチレン、トリクロロエタンなど)、高濃度の強酸、強アルカリ、動・植物油、鉱物油、スチーム(長期使用)の配管材には絶対に使用しないでください。ホースをスチーム洗浄する場合は、飽和蒸気圧力0.2MPa(約130°C)以下で使用ください。寿命維持のため、長時間の連続スチームは避けてください。又、使用流体がホース内に滞留する場合は、ホースの臭気が内容物に移り、不快を感じる場合がありますので、使用前に確認してください。使用条件によりホース成分が溶出する場合がありますので、使用条件(流体、温度)に対する製品への影響を事前にご確認の上ご使用ください。ホースの劣化は使用条件(特に温度と流体)により異なりますので、必ず貴社にて使用条件に適合することをご確認の上使用してください。 |

| | |
|--------------------|--|
| ! 注意 | ● 通電するとホース破裂や感電が生じる原因となりますので、通電しないでください。 |
| | ● 過度の振動または衝撃圧をかけると、金具抜けや金具取付け部分のホースに疲労亀裂が発生しますので、過度の振動及び衝撃圧は避けてください。 |
| | ● シリコンゴムは、ガス透過性が高い性質を持っています。気体を使用される場合は、ホースを透過してホース表面やカット面から漏れ出る場合がありますので、ご注意ください。 |
| | ● 周辺の物体（機械や設備の角など鋭利な部分）に接触した場合、外傷からホース破裂や継手の破損となることがある為、取付けのレイアウト等適切な処置を講じてください。 |
| | ● 食品用途に使用される場合は、ホース及び継手を流体に漬けないでください。継手部分に流体が残ることで、雑菌が繁殖または付着することがあります。 |

3. 金具取付け上の注意事項

| | |
|--------------------|---|
| ! 注意 | ● ホースをカットする際は良く切れる刃物を使用し、補強糸が乱れないようにカットしてください。補強糸が乱れると十分な性能が得られない場合があります。 |
| | ● ニップル（継手金具のホースへの挿入部）とホースの寸法が異なると、ホースの破裂や金具抜けにつながる危険性があります。必ずニップルはホースの寸法に合ったもの（ニップル外径はホース内径+1mmが目安）を使用してください。 |
| | ● ニップルに鋭利な箇所があるとホースの内面を傷つけ、ホースの破裂等につながる危険性があります。必ず面取り（極力丸み）したニップルを使用してください。 |
| | ● ニップルの挿入に際し、油やグリスを使用したり、無理にねじって押し込んだり、ホース内面を削ったりは絶対にしないでください。入りにくい場合はホースをお湯で少し温めてから挿入すると入りやすくなります。 |
| | ● 継手金具の取付けに際し、バンド締めやワイヤー締めをされる場合は、布等でホースの外表面が切れないように保護してください。又、ニップルの谷部で締め付けるようにしてください。加締にて金具を取付ける場合は弊社またはアSEMBリーメーカーに相談の上進めてください。 |
| | ● 継手金具を取付けた際は、取付部の安全性を確認してください。少なくとも耐圧試験（最高使用圧力の2倍）を行い、金具抜けの無いことを確認してください。 |

4. 維持管理上の注意事項

| | |
|--------------------|--|
| ! 注意 | ● ホースは直射日光を避け、温度及び湿度の低い場所に保管してください。又、長尺ホースの場合は最小曲げ半径以上の大きさに巻き平らな所に保管するか、リールなどに巻き、ねじれや折れがないように保管してください。 |
| | ● ホースを梁や壁の釘などにかかけたり、ホースの上に重い物を置かないでください。つぶれ、折れ、ひび割れなどの原因となります。 |
| | ● ホースと異種材料が接触した場合、材料によってはホースに変色が発生する場合があります。又、強い臭いがある場合ホースに臭いが吸着する場合があります。 |
| | ● ホースは古くなるにつれ、硬化や亀裂などが起こり易くなります。ホースに異常が見られた場合はすみやかに交換してください。又、定期点検を実施すると共に機器の更新時には必ずホースも交換してください。 |
| | ● 保管時はホースの内部にゴミ、ホコリ等の異物が入らないようにキャップなどで密封してください。又、ホースの保管が1年以上にならないよう管理に努めてください。 |
| | ● 手直し（再加工）・修理・改造をするとカタログに記載している性能を担保できず、ホース破裂や金具抜けとなりますので、手直し・改造はしないでください。 |


製造元 株式会社 十川ゴム
 TOGAWA
 〒550-0015 大阪市西区南堀江4丁目2番5号
 TEL. (06) 6538-1261(代)